

「目指す姿、目的」 地域に必要な医療が安心して受ける事が出来るようになっていきます。

H25年度の取組

現 状

1. 医療従事者の状況

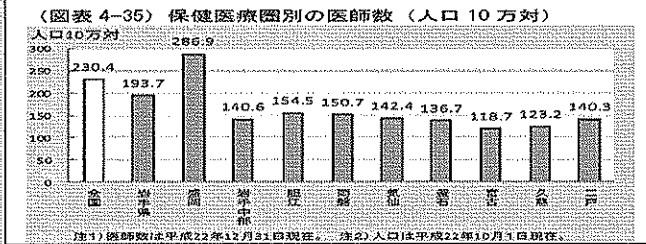
■ 胆江圏域における医療施設従事者のうち、医師、看護師ともに、全国、県と比較してもいずれも下回っています。

H23.10.1現在

区 分	全 国	岩手県	胆江圏域
医 師	319,499.7(253.2)	2,884.5(219.7)	259.3(185.1)
看護師	799,604.3(633.7)	9,508.0(724.3)	861.0(614.7)

(出典：岩手県保健医療計画 2013-2017) ※()内数値は、人口10万対。

■ 医師は盛岡保健医療圏に集中し、それ以外の医療圏は県平均を下回る状況にあり、地域的な偏が見られます。



■ 看護師は平成22年度に策定した「第七次看護職員需給見通し」(H23~H27)において、平成27年には737.4人の不足が見込まれます。

第七次岩手県看護職員需給見通し概要 (看護職員全体【常勤換算】 単位：人)

年	需要数 A	供給数 B	差引 (過不足) A-B
平成23年	16,582.5	15,824.4	758.1
平成24年	16,751.3	15,942.8	808.5
平成25年	16,907.5	16,083.7	823.8
平成26年	17,027.5	16,247.1	780.4
平成27年	17,170.6	16,433.2	737.4

2. 地域医療を取り巻く状況

■ 「医療と健康に関する県民意識調査 (H22年度)」では、県民が「大きな病院と診療所(開業医)との役割分担について知っている」と回答した割合が、47.5%(H20年度)→50.1%(H22年度)へと微増しているものの、その認知度は半数程度に留まっています。

課 題

地域に根付く将来の医療従事者の確保に向けた取組が必要です。

■ 若いうちから医療関連職種への関心を深めていただき、進路選択肢の幅が広がるよう、実際の医療従事者と接したり、医療現場に触れる機会を設けるため、セミナーや講演会を開催します。

誰もが分かりやすく、理解できるような地域医療の現状等について普及啓発を図る必要があります。

■ 地域医療、医療現場の状況等について、住民に対する理解を深めてもらう機会を設けるために、市民講座を開催します。

事業内容

《進路選択セミナーの開催》【新規】奥州保健所、一関保健所

1. 目的
高校生を対象に、将来の進路選択肢の一つとして医療関係職種に係るセミナーを開催し、動機付けを図ります。
2. 開催回数
年1~2回
3. 開催場所
《奥州保健所》 県立胆沢病院(奥州市水沢区字龍ヶ馬場61)
《一関保健所》 東磐井地域にて調整中
4. 開催内容(※奥州保健所の場合)
(1) 県立胆沢病院の概要説明
(2) 県立胆沢病院に勤務する医療従事者の業務説明
(3) 職種(医師、看護師、薬剤師等)ごとのフリーターキング、病院見学

《医療職講演会の開催》【新規】一関保健所

1. 目的
中学生を対象に、将来の進路選択肢の一つとして医師に係る講演会を開催し、動機付けを図ります。
2. 開催回数
年1回
3. 開催場所
一関文化センター
4. 開催テーマ
「医療職(医師)の魅力について」をテーマとする講演会を開催

《市民講座の開催》【新規】一関保健所

1. 目的
地域医療、医療現場の状況について地域住民の理解を深め、医療機関と住民とが協力しあえる関係を作る等を目的に市民を対象とした講座を開催します。
2. 開催回数
年4回(西磐井地区、東磐井地区ともに、各2回)
3. 開催場所
一関文化センター(一関市)、室蓬ホール(大東町)、マリアージュ(千蔵町)
4. 開催テーマ
(1) 地域医療の現状・病院の実情
(2) 病診連携・医療分担(医療機関への受診方法等)
(3) セルフメディケーション
(4) 医療機関と地域住民の連携(ボランティア等の紹介)